【A】ヒートポンプ・蓄熱システムにおける最適運用のポイント

二次側（空調機）

①-2 還水温度をより高温化できないか？
（大温度差拡大）⇒【E】 改

⑨二次側負荷に応じた流量となっているか？
（利用温度差確保・搬送動力低減）⇒【E】 運 改

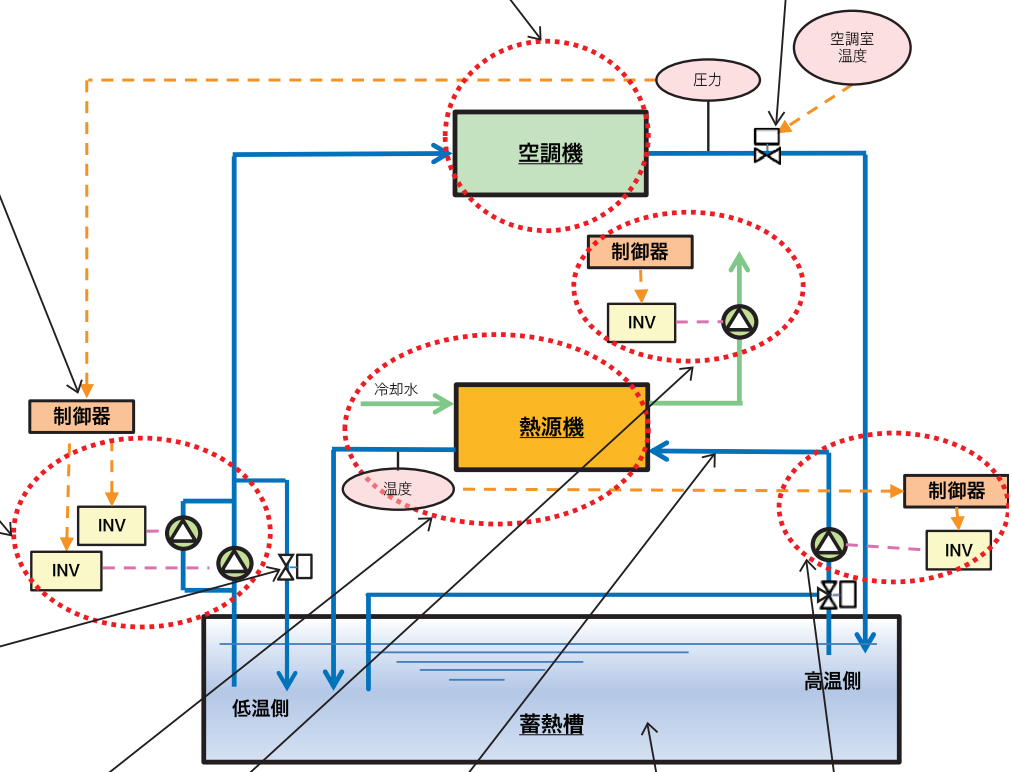
熱搬送

⑤最低回転数が適正となっているか？
（50％以上となっている場合が多い） 運

⑦二次側負荷に対して過剰な流量となっていないか？
（搬送動力低減） 運

⑧⑩ポンプ台数・インバータ制御により流量減が図られているか？
（搬送動力低減） 改

⑥バイパス流量は過大でないか？
（搬送動力低減） 運



蓄熱式空調システム　イメージ図

熱源機

③冷却水温度をさらに低温化できないか？
（運転効率向上） 運

④冷却水は熱源機負荷に応じた流量となっているか？
（搬送動力の低減） 改

蓄熱槽

②低温側蓄熱槽内水温を乱さないよう、熱源機入口温度は適正か？
［変流量HPチラーの採用、又は吸い込み三方弁制御による定温蓄熱制御となっているか］ 改

①-1蓄熱量の増大策
・水量増加
・二次側温度差の拡大⇒【E】
・蓄熱（熱源出口）温度の低温化⇒【F】
・潜熱材採用⇒【G】 運 改

改　改修での対応が必要なもの

運　運用での対応でも可能性があるもの